

島おこし協力隊ミッション
ミニコラム 25

「日々是好日」

『時の流れに身をまかせえ〜』って、呑気に歌ってる場合やないがな！ 鳥獣被害対策&ジビエ振興担当の藤原でございます。

クライマックス？？

気づけば上島町に来島し、早や2年。二つまばたきしたかと思うとあっという間に2年が経過。三つ目のまばたきをするまでにやることテンコ盛りやあ〜。

協力隊の任期は3年。つまりは残すとこ1年を切りました。「うっそ〜ん〜」タイムリミットが近づき急にリアル感がでてきました。「こっわあ〜！」

リアルな日常

上島ライフで生活スタイルが大きく変貌し、この2年間、イノシシと向き合い、山に入り罾を仕掛け、時には人間関係の罍に足を取られてズッコケ（ジョークですよ〜）、命と真剣に向き合い任務を全うしてきました。

獣害により厄介視されている現実。そして「命をいただく」という現実。中途半端では臨めない。常に迷いと葛藤のなか、時には感情を押し殺し命と向き合う日々。

だからこそ、いただいた命をむだにしない、絶対にはいけない。

TUNAGU つなぐ〜

家族団らん、食事のあいさつ「いったきま〜す！」子どもの頃から両手を合わせ発してきた慣れ親しんだ言葉。

人は「命」をいただき、「命」をつないでいきます。きれいごとじゃなく、命というバトンをしっかりとつなげる伝道師でありたい。

上島町に来てたくさんの仲間ができ、同士とともに走り続けています。いろいろな所でつながりたい、つなげていきたいという想いが募り「TUNAGU（つなぐ）プロジェクト」を発動しました。命をつなぐ、食材をつなぐ、人をつなぐ、情報をつなぐ、産地をつなぐ・・・そして次世代へつなぐ。

上島町で地域課題に向き合い、未来のために今日も汗を流すオッサンであり続けよう。そんなこんなで、残り1年（ちよっと切ってますけど・・・）「やっぱあ〜！」『だからお願い、上島に置いてねえ〜』 今は、この町しか見えないのぉ〜

鳥獣対策ジビエ振興
藤原 隆司

▲ ゆめしまの魅力をにつなぐ会「楽しいジビエBBQ」



▲ 愛媛の食材をつなぐプロジェクト「乞うご期待」

公 営 塾

こんにちは、ゆめしま未来塾講師の井上です。

この6月をもって、3年間勤めた塾講師の仕事を卒業することになりました。振り返ればあっという間の3年間でしたが、本当にたくさんの方に支えられ、充実した日々を過ごすことができました。いつも協力してくださった役場の皆さん、そして高校の先生方には心から感謝しています。

そして何より、出会った高校生た

この地で過ごした3年間を胸に

ちからは、想像以上の元気とパワーをもらいました。真剣に勉強に向き合いながらも、笑顔や冗談を交えてくれるその姿に、毎日こちらが励まされていました。

テストの予想が当たって「先生すごい！」と言われた日、検定の合格を笑顔で報告してくれた瞬間、そして進路が決まったという連絡をもらったとき——どれも忘れられない、大切な思い出です。

この春からは、東京に戻ることに

なりますが、ここでの出会いと経験は、これからも私の中で生き続けると思います。

本当にありがとうございました。またどこかでお会いできる日を楽しみにしています！

ゆめしま未来塾
井上 武

ゆめしま寮



▲クッキーを作る在寮生

こんにちは。ゆめしま寮ハウスマスターの川島です。

「木の香残るゆめしま寮で」

私はここ上島町の景色に魅せられて今年3月に東京からやってきました。まだ新しく木の香が残る「ゆめしま寮」で、ユニークな寮生達と色濃い時間をともに過ごしています。（写真は新寮生歓迎会用のクッキー作りです）

さて、現在24名の弓削高生が暮らすこの寮は、寮生が自由に使えるキッチンが付いていますが、給食のない日は皆それぞれランチを準備して食べています。慣れない手付きで

チャーハンを炒めたり、袋麺にアレンジを加えて自分好みの物を作ったりしています。

今後は地域の方々に料理を教えていただけたらと考えております。「高校生のパワーを感じたい！」という方がいらっしゃいましたら、ぜひお声がけください。寮生とともにお待ちしております！

ゆめしま寮 川島 みほ子

移住定住・空き家バンク

移住定住・空き家バンク担当の柿沼です。

移住希望者にとって、民間の賃貸物件が希少である上島町での住まい探しは、入居要件を有する『町営住宅』か売買物件が多くを占める『空き家バンク』となり、移住者にとってはハードルが高いものとなっています。

このような状況から、本年度より『移住お試し住宅』を整備することとしました。これは、移住希望者を

対象に町営住宅の一室を利用し、1カ月から最大で6カ月の移住体験を行っていただくもので、準備が整い次第、利用者を募る予定となっています。

利用者には、上島町において町内での活動や行事に積極的に参加いただくことで、上島町での生活を体験していただき、空き家バンクでの物件購入を促進するとともに、移住後のミスマッチを解消できるものと期待しているところです。

町民の方々には、移住体験者と交流する機会がございましたら、ぜひご理解とご協力をお願いしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

移住定住
柿沼 祐一